

JC 見聞録

HANDA JUNIOR CHAMBER INC.

2010
No. 3

基本理念

継続的な市民参画型社会の構築

基本方針

市民参画型運動の実践・JCブランディングの確立・共に育む環境づくり
JAYCEEの資質向上・活気あふれる地域未来の創造

スローガン

貫徹



洋上研修船第37回J.C.青年の船とうかい号が6月5日から13日の9日間の日程で行われました。帰港式では、充実感に満ちた乗船者の皆さんを、たくさんのメンバーで出迎えました。

Contents

活動報告

- P.02 4月例会 ～ 見つけよう！みんなが想うまちの姿 ～
憲法タウンミーティング
- P.03 知多5JC合同例会 ～ 集結、想いやり溢れる知多半島の確立に向かって！～
ASPAC
- P.04 洋上研修船 とうかい号
6月例会 ～ 探そう！地域のたから in TAKETOYO ～
- P.05 新入会員研修講座特集
- P.06 私達のまち へえ～！ほお～！～南知多町・美浜町～
9月例会のお知らせ
次年度理事長のご紹介

4月例会 見つけよう！みんなが想うまちの姿

4月21日(水)、クラシティ 3F市民交流センター内ホールにて4月例会が行われました。

正会員を始め、若い方を中心とした一般参加者にも多く参加していただき、誠にありがとうございました。第1部では、「Yes, We Do!!」代表で、当青年会議所正会員でもある鈴木雅貴君から実際の体験から学んだ市民参画について語っていただきました。

第2部では手話アーティストとしてご活躍中の飯嶋進哉氏に「自分が輝き出したその第一歩」という題で講演をしていただき、その後、心に残る暖かい手話によるパフォーマンスを披露していただきました。

第3部では「見つけよう！みんなが想うまちの姿」をテーマに、一般参加者および講師である飯嶋氏を交えグループディスカッションを行いました。さまざまな意見が飛び交う中、議論も白熱し、出席者の皆様のまちを思う心の強さが伝わってきました。

第4部では、若者を中心とした主体的にまちづくりをおこなっていく団体「TOWN YOUTH CORPS」(TYC)の立ち上げ宣言を行い、将来に向けて新たな市民参画の第一歩を踏み出しました。

これからも市民参画の輪をこのまちに広めるため、頑張っています。どうぞよろしくお願い致します。



憲法タウンミーティング in 愛知 ～みんなで考えよう日本の未来～

5月3日(月)の憲法記念日に、大府市役所にて憲法タウンミーティング in 愛知～みんなで考えよう日本の未来～が、愛知ブロック協議会主催のもと開催されました。

当日は、「憲法の説明」「憲法制定の成り立ち」をパワーポイントで説明の後、コーディネーターの中島和生氏(2008年度 社団法人日本青年会議所 副会頭)、パネリストの池田佳隆氏(2006年度 社団法人日本青年会議所 会頭)、民主党 石田芳弘氏、元内閣総理大臣 海部俊樹氏、日本共産党 佐々木憲昭氏により、「あなたにとっての憲法とは」「未だに国会で憲法審査会が設置されていないこと」「外国人参政権について」「普天間基地問題と日本の安全保障について」を題材にして活発な憲法議論が繰り広げられました。また、参加者494名の皆様に、憲法についての○×アンケートに参加していただいたことで、日本の未来を考えた上で自国の憲法はどうあるべきか、また社会問題についても考えていただき、一体感のある国民参加型憲法タウンミーティングになりました。今年で3年連続となる5月3日の全国一斉憲法タウンミーティングですが、少しずつ憲法に対する国民の関心が高まってきていると実感しました。今後、国民投票法に向けて、国民の皆様が主権者としての自覚を持っていただき、その責任を果たすことができるよう導くことで、憲法に対する意識が醸成され、真の民主主



義国家の創造を実現するべく邁進してまいります。半田JCから愛知ブロック協議会ローカルmanifesto推進委員会に出身している、伊藤友公委員長、榊原康嗣総括幹事、稲生耕一会計幹事、勝山俊君、榊原考司君が大活躍していました。

知多5JC 合同例会

<集結、想いやり溢れる知多半島の確立に向かって！>
～地域への感謝と地域愛を抱いて～

5月19日(水)、
阿久比町勤労福祉センターにて、
知多5JC合同例会が開催されました。

知多半島で活躍する多くの仲間(大府JC、知多JC、
社東海JC、常滑JC、社半田JC)が集まり、講師
に清水英雄氏(株式会社ヒューマンウェア研究所)を
迎え、想いやり溢れる知多半島を目指す為、まず地域
への感謝の気持ち、そこから生まれる地域愛、そして、
指導者としての能力向上についてエネルギーに講

演いただきました。どんなことでも、まず「ありが
う！」と考えることに、共感した正会員も多かったこ
とでしょう。

また、この日は半田青年会議所の新入会員研修講座
もかねて多くの受講生の方にも講演を聞いていただき
ました。



ASPAC (アジア・太平洋地域会議)

6月3日(木)～6月6日(日)、
シンガポールの地にて、
ASPACが開催されました。

ASPACとは、アジア・太平洋の各国の青年会議所の
会頭や役員が集まり、お互いの活動を報告したり共通
の課題を検討したりして、青年会議所としての認識や
活動を揃えていく会議です。

初日には結団式と開催式が、2日目は総会や各国主
催のパーティーが盛大に行われました。

3日目には日本JC主催によるパーティーが行われ、
半田JCもブースを設営をし、そのブースでは、半田
山車祭りの写真を大きく引き伸ばした背景をつくり、
訪れた世界の方々に記念撮影を楽しんでいただき、ま
た、半田の名物の1つでもあります、生せんべいをご
賞味してもらいました。

当日は、蒸し暑く大変でしたが半田JCの結束力で乗
り切り最後はみんなの笑顔で締めくくりました。

最終日は日本JCからの参加者の解団式があり、その
中で今年度の世界会議の開催地である大阪JCの方が舞
台に上がりコント風に世界会議をアピールしていました。
夜には各国の参加者が集まり、盛大な晩餐会が開催され、
みんなで最後の夜を過ごしシンガポールを後にしました。

来年2011年のASPACはフィリピンで、2012年は
香港で開催されることが決定されました。



洋上研修船 とうかい号

第37回 J C 青年の船とうかい号が、無事に帰港しました。

6月5日に出港し、13日までの9日間の日程で行われた洋上研修船 J C 青年の船「とうかい号」が無事に名古屋港に帰港しました。乗船者を輩出下さいました企業の皆さま、ご家族の皆さま、本当にありがとうございました。

37回目の今年の目的地は、硫黄島を経由しサイパンへの行程でした。

寄港地サイパンには半田のメンバーが先回りし、生き生きとした顔で船から降りてきた乗船者を出迎えました。サイパンでの交流パーティで、現地の方たちと触れ合い、様々な活動をする乗船者のみなさまが笑顔溢れ、積極的に交流する姿を目にしました。

下船後、9日間の現地の方や乗船者との交流や研修、体験を涙しながら報告する姿に船上での充実度を感じました。

大きく成長された姿は、事業に携わる私たちにとっても大きな喜びです。学んだことを活かし、これから大いに活躍されることを期待しています。

今回も数多くのドラマが生まれましたが、次回はどうなるドラマが待ち受けているのでしょうか。日常では体験できない船での生活を体験してみませんか。



6月例会 「探そう！地域のたからin TAKETOYO」

6月27日(日)、
武豊町北山区民館にて、
6月例会が開催されました。

今例会では、「探そう！地域のたから in TAKETOYO」をテーマに、正会員はもとより、多くの一般参加者の方々にお越しいただきました。

第1部では、「地域が活性化するために」をテーマに、舩山芳輝武豊町長にご講演をいただき、活性化するためには住民の力が必要であることをお話しいただきました。

第2部では、(名) 中定商店中川安憲氏指導のもと、武豊町のたからである豆味噌作りの体験行いました。そして、社団法人半田青年会議所が推進する知多汁を中川氏の作る豆味噌をベースに調理し、ご賞味いただくことで、参加していただいた方々に武豊町への郷土愛を深めていただきました。

第3部では、「社会関係資本」と「地域のたから」という概念を伝えさせていただき、武豊町北部の「地域のたから」の例示をさせていただきました。そして、「この地域が未来に夢が持てる地域となるために、5年後、10年後、どのように活性化された状態になっているといいと思うか」、「今考える『地域のたから』とは何か」

についてグループディスカッションを行わせていただきました。

今後も「地域のたから」概念の普及に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



研修講座特集

今年度の入会を目指す方を対象に、新入会員研修講座を開催しました。

第1回（5月14日）

第1回研修講座は、武豊のゆめたろうプラザの響きホールにて行われました。

JCの概要説明の後、講師に横田貴次先輩をお招きし、JCでの体験を交えてご講演いただきました。



第2回（5月19日）

第2回は、知多5JC 5月合同例会「集結、想いやり溢れる知多半島の確立に向かって！」～地域への感謝と地域愛を抱いて～を参観しました。

第3回（6月13日）

第3回は、とうかい号の帰港式を参観しました。正会員の乗船者、一般乗船者の熱い涙、抱擁をみて、受講生の方も感動していました。



第4回（6月27日）

第4回は、6月例会に参加し、地域の方と一緒に「地域のたから」について考えました。

地域の方と一緒に豆味噌を作っているときの笑顔がとても印象的でした。

第5回（6月30日）

最終回となる第5回は、実際の活動にいたるまでの経緯などについて学びました。

グループディスカッションでは、実際に活動について正会員と一緒に議論し考え、発表していただきました。90分程度の短い時間でまとめ上げた活動は本当にすばらしく、何より熱く、楽しそうに議論しているのを見て半田JCには本当に必要な人材だと強く感じました。



私たちの町

へえ～！ ほお～！

第3回 南知多町・美浜町

3回目となる今回は、南知多町・美浜町の紹介です。
知っているようで知らない町の由来を、
今回私たちは、役場に取材に行ってきました。

■ <南知多町>編

南知多町の誕生は、昭和36年6月1日に、知多半島の先端に位置する内海町、豊浜町、師崎町、篠島村、日間賀島村の3町2村が合併して誕生しました。

「内海、豊浜、師崎、篠島、日間賀島の5ヶ町村は知多半島の南部として従来から相たずさえて行政を行ってきました。産業、農業、漁業とその加工業を基盤とした共通の産業形態に結ばれており、又三河湾国定公園の重要な一角として協同して地元産業と結びついた観光施策を進めることが有利な立場におかれていました。」

このように関係5ヶ町村は同一地域社会として発展すべき立地、産業、観光等の備えているということで合併そして、知多半島最南端に位置することから南知多町となりました。」

遊びに行く方、地元の方も、違う視点からこのそれぞれの利点を生かした南知多町を見てみるのも面白いかもしれません。

■ <美浜町>編

美浜町の誕生は、昭和30年4月1日に野間町、河和町が合併して美浜町が誕生しました。その後、昭和32年3月31日に、小鈴谷町の一部と合併し現在の美浜町になりました。

「美浜」の由来を調べてみましたが…はっきりしてきません。どなたも「美しい浜が続いているからでは？」とお答えになります。地元の方が肌で感じていることこそ、正しい説なのかもしれません。

美浜町は名所が多く、あの恋の水神社、源義朝のお墓がある野間大坊や時志観音などがあります。また、祭礼も盛んな地域です。様々な分野でも魅力を増している美浜町のまちづくりのメインテーマは、「自然との共生」。「美浜」の自然は、町名のみならず地域に根付いていることが感じられます。

次回は最終回「武豊町」です！

9月例会のお知らせ

「はんだ 夢 ロード」 ～未来を灯す キャンドルナイト～

キャンドルを並べて1キロの夢ロード完成！

紙袋提灯を作ってみよう！ 屋外ステージで南吉文化を楽しもう！

キャンドルを彼岸花の咲く矢勝川沿いに並べて、

『キャンドルのみち』をつくりませんか。

南吉ロマンあふれる里にて、心あたたまるキャンドルナイト！

ぜひご参加ください。

日時：9月18日(土) 16:00～19:20

場所：新美南吉記念館および矢勝川周辺

参加方法：半田青年会議所ホームページ

よりお申込み下さい。(先着150名)



次年度理事長予定者

6月27日、信任投票により次年度理事長予定者に、
竹内辰幸君を決定いたしました。今後ともよろしくお願いします。

竹内 辰幸 (たけうち たつゆき)

1973年7月11日生まれ

株式会社 マルヤマ 代表取締役 (知多郡阿久比町草木)

2003年度入会

2010年度副理事長

ホームページもご覧ください！

<http://www.handajc.or.jp/>

半田JC

検索

メール会員募集中！

毎月の活動報告やまちの情報などお届けします。

ぜひご登録下さい。

●携帯電話から：右QRコードをご利用下さい。

●パソコンから：半田JCホームページよりメール会員募集をクリック。



編集発行

社団法人半田青年会議所 JCブランディング委員会
社団法人半田青年会議所広報誌 JC見聞録

半田市御幸町1番地 知多繊維会館3F TEL 0569-21-7105
2010年7月31日発行 (通算433) 印刷：有限会社 一粒社